

# サラブレッドの胃潰瘍

参議院議員  
名誉顧問  
藤井基之



秋風や ひびの入りたる 胃の袋

「吾輩は猫である」で有名な夏目漱石の俳句です。漱石は、長年、胃潰瘍で苦しんでいました。「吾輩は猫である」には、主人公である猫の飼い主、苦沙弥先生（多分、作者自身）も胃痛で、大根おろしをむやみになめており、大根おろしにはジアスターゼが含まれているからだ、と書かれています。ジアスターゼとはでんぷんなどの消化酵素ですが、苦沙弥先生は明治二十七年に高嶺讓吉博士が開発した消化薬「タカジアスターゼ」を愛用していたようです。やがて胃痛は重い胃潰瘍へと進んでしまい、消化剤では収まらなくなり、ついに入院。しかし、治療といっても、煮えたぎったコンニャクを胃の上に乗せて蒸すという「コンニャク療法」を受けたりしたとか。結局漱石は、胃潰瘍のため、四十九歳でこの世を

去りました。戦後に至っても胃潰瘍は、手術して潰瘍の部分を切除するのが最良の方法でした。しかし、今日では、いろいろな治療が開発され、手術することなく治療することができるようになりました。

酸多き 胃を患いてや 秋の雨

これも漱石の俳句ですが、この句にあるように、胃潰瘍は、胃液中の酸の分泌が高過ぎることによって起こります。胃酸は「塩酸」で、強い酸性を示しますが、この胃酸によって食物が溶けて柔らかくなって消化し易くされ、また食物と一緒に胃の中に入った細菌が殺菌されま

らです。ところが、何らかの原因によって胃酸が出過ぎて、あるいは、胃粘膜の力が弱まり、バランスが壊れて胃壁が傷つけられてしまい、胃潰瘍が発生してしまいます。原因としてはストレスが大きな要因ですが、頭痛、歯痛等に使われる非ステロイド系と呼ばれる消炎鎮痛剤や、最近では、普通の細菌では生きられない強い酸性の中でも生きられるというピロリ菌が胃粘膜を弱めてしまうため、ということもわかりました。

いう医薬品（H2ブロッカーと言います）が開発されました。また、胃壁にある胃酸を分泌する「プロトンポンプ」と呼ばれる部分の作用を抑えてしまう医薬品（プロトンポンプ阻害剤と言います）も開発されました。

さらには、それらの胃潰瘍治療薬と一緒に、胃粘膜を弱めるピロリ菌を殺菌するために抗生物質を併せて使用する治療法も開発されました。

ところで、一九九六年、日本の競走馬総合研究所で、競走馬サラブレッドについて調査を行ったところ、日本の競走馬の八五・四％に胃潰瘍があることがわかりました。実は欧米でも同じような調査

結果があるそうです。レースや調教でのストレス、レースに必要な大きなエネルギーを得るため「濃厚飼料」を与えることなどから、高い割合で胃潰瘍が発生していると考えられています。

北海道の帯広に、「ばんえい競馬」という競馬がありますが、こちらはサラブレッドではなく、農耕馬であるばんえい馬（重種馬、ばん馬）という馬に、騎手と重量物に乗せた鉄製のソリを引かせてスピードを競う競馬です。このばんえい馬についても、ばんえい競馬場で調査したところ七五％の馬に胃潰瘍があることが分かったそうです。そこで帯広畜産大学が、このばんえい馬のうち胃潰瘍

と診断された十九頭に胃潰瘍治療薬のプロトンポンプ阻害剤を与えたところ、大変大きな治療効果があったそうです。大変大きな治療効果があったところ、「コンニャク療法」の時代に生きた夏目漱石が、もし今日の人であったら、もっとと書いたことでしょうか。

医療、医薬は日進月歩で進んでいます。今、経済成長戦略の一つとして、アメリカの医療技術や医薬の開発研究を総合的に進めるNIHという機関をモデルとして、日本版NIHを作ろうという構想が進んでいます。「日本発の、優れた医薬品を世界の人々に」、私の最重要の政策の柱です。

## 藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 2回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ

<http://www.mfujii.gr.jp/>

- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条  
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。  
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。

- 活動報告  
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」  
参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。

- 経歴  
昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業  
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業  
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業  
昭和44年 厚生省入省  
平成9年 厚生省退官  
平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 専務理事  
平成12年 日本薬剤師連盟 副会長  
社団法人日本薬剤師会 常務理事  
平成13年 参議院議員(1期目)  
平成16年 厚生労働大臣政務官(平成16年9月~平成17年11月)  
平成19年 日本薬剤師連盟 顧問  
平成22年 参議院議員(2期目)  
平成23年 参議院政府開発援助等に関する特別委員会 委員長

- その他  
慶應義塾大学薬学部 客員教授  
昭和大学薬学部 客員教授  
東邦大学薬学部 客員教授  
新潟薬科大学 客員教授  
京都薬科大学 客員教授  
近畿大学薬学部 客員教授  
千葉大学薬学部 非常勤講師